

備前市事務事業評価表

事務事業名	農業関連負担金事務	コード	04-01-01-07
		担当課・係	農林水産課 管理係
		担当者	禎野 康子
		電話	0869-64-1831 (内線233)
事業実施期間			
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	
	中項目(基本施策)	豊かな食を支えるまちづくり	
	小項目(施策)	農業	

事業について	
目的 (何のために)	負担金を岡山県外(吉井川広域交流協議会、岡山県土地改良事業団体連合会等)へ支払うことで、農業施設を再整備してもらったり、研修会への参加でより高度な知識を習得し、受益農業者がより良い環境で就労できるようにしていくため。
対象 (誰・何を対象に)	農業振興地域内の受益農業者外
内容	農作物の栽培技術向上や農業施設の老朽化等による吉井川水系の地域負担金、受益農業者への栽培拡大への支援を行っている。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業の結果																											
実施項目	17年度	18年度																									
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)																								
加入者	325 人	168 人																									
利用面積 (a)	96 a	74 a																									
事業費 (単位:千円)	<table border="1"> <tr> <th>事業費</th> <th>財源</th> <th>事業費</th> <th>財源</th> </tr> <tr> <td>直接事業費 1,104</td> <td>国庫補助金等 0</td> <td>直接事業費 919</td> <td>国庫補助金等 0</td> </tr> <tr> <td>人件費 1,440</td> <td>受益者負担 0</td> <td>人件費 1,615</td> <td>受益者負担 0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>市債</td> <td></td> <td>市債</td> </tr> <tr> <td>合計 2,544</td> <td>一般財源等 2,544</td> <td>合計 2,534</td> <td>一般財源等 2,534</td> </tr> </table>		事業費	財源	事業費	財源	直接事業費 1,104	国庫補助金等 0	直接事業費 919	国庫補助金等 0	人件費 1,440	受益者負担 0	人件費 1,615	受益者負担 0		市債		市債	合計 2,544	一般財源等 2,544	合計 2,534	一般財源等 2,534					
事業費	財源	事業費	財源																								
直接事業費 1,104	国庫補助金等 0	直接事業費 919	国庫補助金等 0																								
人件費 1,440	受益者負担 0	人件費 1,615	受益者負担 0																								
	市債		市債																								
合計 2,544	一般財源等 2,544	合計 2,534	一般財源等 2,534																								
必要人員	0.15 人	0.20 人																									
結果指標	<table border="1"> <tr> <td>結果指標名</td> <td>加入者</td> <td>加入者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>結果指標量</td> <td>325</td> <td>168</td> <td></td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>人</td> <td>人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td>-</td> <td>51.69%</td> <td>0.00%</td> </tr> <tr> <td>活動にかかるコスト</td> <td>2,544,000 円</td> <td>2,534,000 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>単位当たりコスト</td> <td>7,800 円</td> <td>15,083 円</td> <td></td> </tr> </table>			結果指標名	加入者	加入者		結果指標量	325	168		単位	人	人		対前年比	-	51.69%	0.00%	活動にかかるコスト	2,544,000 円	2,534,000 円		単位当たりコスト	7,800 円	15,083 円	
結果指標名	加入者	加入者																									
結果指標量	325	168																									
単位	人	人																									
対前年比	-	51.69%	0.00%																								
活動にかかるコスト	2,544,000 円	2,534,000 円																									
単位当たりコスト	7,800 円	15,083 円																									
結果指標	<table border="1"> <tr> <td>結果指標名</td> <td>利用面積</td> <td>利用面積</td> <td></td> </tr> <tr> <td>結果指標量</td> <td>96</td> <td>74</td> <td></td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>a</td> <td>a</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td>-</td> <td>77.08%</td> <td>0.00%</td> </tr> <tr> <td>活動にかかるコスト</td> <td>2,544,000 円</td> <td>2,534,000 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>単位当たりコスト</td> <td>26,500 円</td> <td>34,243 円</td> <td></td> </tr> </table>			結果指標名	利用面積	利用面積		結果指標量	96	74		単位	a	a		対前年比	-	77.08%	0.00%	活動にかかるコスト	2,544,000 円	2,534,000 円		単位当たりコスト	26,500 円	34,243 円	
結果指標名	利用面積	利用面積																									
結果指標量	96	74																									
単位	a	a																									
対前年比	-	77.08%	0.00%																								
活動にかかるコスト	2,544,000 円	2,534,000 円																									
単位当たりコスト	26,500 円	34,243 円																									

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか			
成果指標名	設定できません	式又は説明	複数の負担金が含まれているため
	17年度	18年度	
成果指標量			
対前年比	-		
到達目標値		到達目標年度	

事務事業の評価		(平成18年度事業)		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等:	妥当性評価<A~E> D	
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	農家数の減少に伴い負担金を削減させていく。	
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である		
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	<input type="checkbox"/> コストの効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である <input type="checkbox"/> 手段の最適化 <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	効率性評価<A~E> C		
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	加入農家が減少しているため活動内容等(栽培面積、栽培方法等)を精査し、農協等の他の機関にも移行できる手段を考えながら負担金を削減していく。	
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		有効性評価<A~E> D
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		課題認識
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	このままの状態より内容を精査し、削減を進めていく。		

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 農家数、利用耕地面積も毎年減少しているため、事業内容等は精査し、これからも事業を縮小できると思われる。
-----------	---	---	---

目標値	結果指標量	結果指標量
成果指標量		

総合評価	農家数や農地の減少により各団体等への負担金は減少傾向にある、そのため、さらに負担金を削減できると考えられる。	評価区分 <A~E> D
------	--	--------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	--	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果